

氷上回廊水分れフィールドミュージアム 展示概要

展示の基本的な考え方

展示の体験がフィールドへと誘い、フィールドでの体験が展示で深まる博物館

- 地域の森羅万象を扱い、野外フィールドを活かす小さな総合博物館
地形のしくみから、自然環境、歴史と文化、現代課題と地域の未来構想までを、文理融合による一貫したストーリー。地形と生物、生物と文化、文化と農をはじめとする営みなど、分野を横断して、現在の姿とあるべき姿を考える場をつくる。
- 新しい展示手法の導入
ミナミトミヨの実物3Dスキャンによる拡大模型、地形のしくみをシミュレーションできるカーゴ型ツールキット、ドローン撮影した映像を空中遊泳しているような没入感のある映像設備
- さわれる・体験できる展示、参加できる展示の仕組みを導入
実際の標本を間近で観察できて、触れる標本を多数用意し、それらを使って対話型の学習や理解が深まるキットを用意。セミナーやイベントの機会を活かして、展示物をみんなで作って誰もが発信者になれる展示。

氷上回廊の成り立ちを奇跡として数値化して説明

4
氷上回廊「キセキ」

ポイント
■氷上回廊の成り立ちがどれだけ「キセキ」なのか詳しい説明を資料と模型で説明。どれだけ「キセキ」なのかを数値化。



体験性の高い仕掛けを随所に展開。楽しみながら氷上回廊のキセキ・不思議を学ぶ。

氷上回廊や丹波の魅力を知るきっかけづくりとなるスペース

1
水分れロビー (無料)

ポイント
■展示室へと誘導する氷上回廊の概念を映像や地形模型を使って、案内する。
■展示を深めるツールキットで氷上回廊に興味を持ち、基礎知識を習得する。



氷上回廊の空中散歩映像で、魅力あふれる丹波のフィールドへ誘う

2
氷上回廊 空中散歩

ポイント
■ドローンの画像をリアルに体験できる空中散歩映像。画面への映像×床面画像の相乗効果で、没入感・浮遊感のある映像体験を実現します。



世界・日本の地形を体感的に学べる「凸凹地形体験」日本の尾根の構造や氷上回廊の位置など地形の理解を促進

3
地球は凸凹

ポイント
■自由に地形模型に触れることで、氷上回廊や日本の水分れを構造的に理解、発見できる。



地球は凸凹
水分れスポットを触ることで地形の高低差を体感し、地形の面白さを発見！

凸凹体験 自由に触れてもらい、分水界の概念を凸凹地形を入りに理解する

人やモノ・文化が交流した氷上回廊。その歴史を辿る。

6
氷上回廊の歴史

ポイント
■氷上回廊の文化交流を辿る。約3万年前の旧石器時代から現代の物流までを一貫して展示する。



ナウマンゾウも通った 三万年前から交通の要所

高瀬舟(現存資料の活用)

なぜ今もトラックが多く行き交うの？

独特の自然や風土が紡ぐ丹波の多様なめぐみを紹介する 仮想店舗「丹波みらい堂」

7
丹波のめぐみ

ポイント
■丹波三宝をはじめとする農産物や工芸品など丹波のめぐみが一堂に会したショップ風の展示。お店屋さんごっこなどのワークショップにも活用できる。キッズ的な演出と要素を付加。



自然や気候風土、民俗との関わりを展示

丹波布 山芋 ジビエ 山菜 (食品サンプル) 松茸・しめじ等 あまご等 ヒストリー

氷上回廊水分れフィールドミュージアム 展示概要

2F

8
交流
ギャラリー
(無料)※
※企画展開催時
は有料の場合あり

2Fは基本的に無料ゾーンとして市民や子どもたちに開放。
氷上回廊を身近に感じ、学べる交流ギャラリー

ポイント

- 丹波の自然や文化、食などをテーマにしたパッケージ化された収蔵型の学習教材キット『体験展示 BOX』を導入。
- 1Fで体験した『丹波のめぐみ』を体系化できるミニキッチンを用意。フィールドワークで採取した山菜などを持ち帰り、簡単な調理もできる。
- 中央部には、様々な企画展などに活用できる木製の展示什器を設置。

体験展示BOX
子どもたちが丹波に親しむアイテム(舟運すごろく等)を収納

会議ゾーン
(非使用時は交流・自習など)

企画展ゾーン
(非使用時はレスト・交流など)

交流・自習ゾーン

交流ギャラリーの風景



フルイを使って粒の大きさを実感しよう!



バラバラになった土器を修復しよう!

氷上回廊水分れフィールドミュージアム

外観・周辺

外観



氷上回廊
水分れフィールドミュージアム
Hikamikairo Watershed FIELD MUSEUM

当館のロゴ

山々に囲まれた南北に伸びる『氷上回廊』の地形的要素を図案化。2つの山々に囲まれた「盆地」と流れる「水」のありさま。中心に位置する点は「水分れ」を表している。



氷上回廊水分れフィールドミュージアム

休館日・開館時間・観覧料等

1) 休館日

月曜日、12月29日～1月3日
※休館日は変更可

2) 開館時間

午前10時～午後5時
※開館時間は変更可

3) 観覧料(展示室)

・大人(高校生以上): 210円(団体: 100円)
・小中学生: 100円(団体: 50円)

※県内の小中学生は、ココロンカード提示で無料
※特別展示は別途設定

4) 施設の使用料

・多目的スペース
市内: 210円/h (310円/h)
市外: 410円/h (520円/h)

・交流ギャラリー
市内: 310円/h (470円/h)
市外: 620円/h (780円/h)

※()内は冷暖房使用時

5) ワークショップ等参加料

・規模、内容等によりその都度設定

